

西三数学サークル 2024 年春のオンライン研究会のご案内

高校入試や、大学入試など学年末を迎えお忙しい毎日のことと思います。

コロナ禍など諸事情により、年度末の研究会としては、2年ぶりに土曜の午後に講演＋レポート発表会としてオンラインで計画しました。

講演は、いつもオンライン例会では東京から参加の黒田俊郎先生です。先生とは、「たのしくわかる数学 100 時間・上下」（初版は 1990 年あゆみ出版より、2010 年日本評論社より新装版）で共編著させていただきました。数教協の全国大会では兵庫の横山正道さんの企画で「黒田俊郎と語る会」が毎年開かれ、別記のような合計 17 冊の冊子にまとめられています。

先生の都立高校での授業や武蔵工業大学や東京電機大学等で数学教育法の講義はすでに上記の冊子にまとめられていますが、事前に参加者から質問もいただいて新たな「黒田俊郎と数学の授業を語る会」にしたいと思います。（コーディネーターは黒田ファンを自認するサークルの鈴木弓子さんです）

この時期の研究会は毎年全国からの実践家・研究者もご参加いただいてレポートも発表してもらっています。オンラインの利点を生かして西三以外の全国の皆様の参加もお待ちしております。

起

日程 3月9日（土） 13時～17時

12:45 Zoom にアクセス後、ミーティングルームへの接続手続き（**参加費無料**）

13:00～14:30 講演：黒田 俊郎（元東京都立高校教諭）
「数学教育法」の授業から……昔話を交えて

14:30～14:45 休憩

14:45～17:00 参加者自己紹介＋レポート発表・質疑

講演講師紹介

1938 年生まれ。1961 年東京大学理学部数学科卒業。その後東京都で高校教師を勤め、1999 年退職。東京電機大学等にて「数学科教育法」を担当。

事前に講師講演への質問等があれば竹中までメールでお願いします。

参加申し込み：2月29日（木）までに竹中（takenaka@hm.aitai.ne.jp）まで名前と所属（県）名を記入の上、メールでお願いします。

レポート発表申し込み

レポート名は2月25日（日）までに上記竹中までメールで申し込みください。

本レポート送付（PDF またはワード）は3月2日（日）までにお願いします。

発表時間等は申し込み状況により調整をさせていただきます。

※ 3月4日（火）にミーティングルームの URL および詳しい進行表、レポートなどをお送りします。

【黒田先生からのメッセージ】

私が数教協全国大会に参加したのは1965年でした。

以後ほとんど毎年参加しましたが当時の高校分科会はとても高度で、近数教の方々が「高校の数学がむつかしいのはガラクタ教材ばかりだからだ。程度をあげればもっとわかりやすくなる」という仮説のもとに程度の高い「テキスト」をつくってその解説を行うレポートがほとんどだったように思います。

ところが1972年の大会で遠山さんが次のような話をされました。

「高校の先生方は、大学の数学が本当の数学だと思っているようだが、そうではない。生きた生徒の頭の中に生きた数学がある。生徒と一緒に数学をつくって、そこから数学を眺めてみたらどうか」

私は「本当かな？」と思いましたが、生徒に問題をつくってもらったところ、すばらしい問題がいくつもつくられました。

……というような昔話を交えながら、大学の授業の内容をお話したいと思います。

【参考】

著作物一覧（西三数学サークルでまとめたもの、漏れがあるかと思えます）

* 三省堂数学バイパスシリーズ

「微分のひ・み・つ」（1977） 「積分のい・ず・み」（1977） 「行列のえ・ほ・ん」（1978）

「平面幾何のは・な・し」（1999） 「幾何のた・び・じ」（1979 共著）

* 「たのしくわかる数学100時間 上・下」（1990 あゆみ出版 共編著）
（2010 日本評論社 新装版）

* 黒田俊郎の本（横山正道編集発行）

「黒田俊郎が語る受験数学の楽しみ方」（1995） 「10時間の微分法」（1998）

「順列・組合せの授業～高校生のための組合せ解析入門」（1997）

「バイパス教材の発想」（1997） 「『式と証明』の授業」（1998）

「たのしい授業をどう作るか」（1998） 「『平面幾何』の授業」（1998 別冊版）

「『積分法』の授業—全日制と定時制—」（1999） 「『数列』の授業」（1999）

「2次方程式～ガウス平面」（1999） 「平面幾何の中から」（1999 別冊版）

「『確率・統計』の授業」（2000） 「私の授業と生徒たち」（2000 別冊版）

「塩が教える幾何学」（2000） 「数楽サロン 平面の幾何と空間の幾何」（2001）

「数学なんでもボックス—生徒とつくる楽しい数学」（2001 別冊版）

「『数学語』から『モノガタリ語』へ」（2003）

* 「授業をどう組み立てるか—『数学教育法通信』より」 数学教育協議会